

第1回審議会 基本構想(素案)への感想、まちづくりへの意見等(要旨)について

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>1 総合計画の基本に関する意見・感想</p> <p>(1)長期的視点、地方回帰の流れ</p> <p>ア どのようにまちは変わっているのか、あるいは文明とともにどのようにまちは変えられていくのかということも考えながらこれからの10年を捉えれば、やっつけていかなければならないこと、決めていかなければならないことが見えてくるのではないかと。</p> <p>イ ウィズコロナで社会が大きく変わる中、地方回帰が言われ始めている。</p> <p>ウ 県外から移住される方はこれからも増えるのではないかと。</p> <p>エ 10年後なので、デジタルトランスフォーメーションによる変化など、新しい未来が、より見えるような総合計画にしていければいい。</p> <p>(2)まちに対する誇りの重要性</p> <p>ア 地域にある資源をもう一度発掘したり見直していく必要があるのではないかと。</p> <p>イ 全国あるいは世界の中でもきらりと光る都市になるポテンシャルが高い。</p> <p>ウ プライドを持っていくことが、人の育ちにも町の育ちにも重要である。</p> <p>エ 県都としての鹿児島市、もっと言えばアジアの中における鹿児島市とか、無意識かもしれないが、明らかに市民を形作っている「思い」「自信」といったものを計画立案に上手く取り入れていくべき。</p> <p>(3)外部からの視点の必要性</p> <p>ア 外国の方の目線をもっと大事にすべきである。</p> <p>イ 県外からの視点なども踏まえながら、具体的に進めていくべきである。</p> <p>ウ 外国人の視点をもっと取り込む必要がある。</p> <p>(4)人に着眼すること、人と人のつながりの重要性</p> <p>ア 尊厳ある働き方、尊厳ある生活が基本にあるべきではないかと。</p> <p>イ 指標だけではなく、豊かな精神性とか、「人」に着眼する必要があるのではないかと。</p> <p>ウ 人と人が顔を合わせながら何かを進めていく、深めていくところをどう具体的にやっていくのか考える必要があるのではないかと。</p> <p>エ 新型コロナによって人と人のつながりの大事さに気づかされている。</p> <p>オ 高齢者にとって、元気をもらったり与えたり知恵をもらったり、共助互助の生活が重要。</p> <p>(5)市民の参画、協働・共創のための仕組み</p> <p>ア 市民が、総合計画に示された施策・取組に、チームの一員として参加・挑戦できるような計画になればいいと思う。</p> <p>イ SDGsの浸透について、行政がもっと主導すべきではないかと。</p> <p>ウ 鹿児島市のイベントは面白いものが多く、若者が積極的に参加している。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>

第1回審議会 基本構想(素案)への感想、まちづくりへの意見等(要旨)について

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>2 「基本構想(素案)」各項目に関する意見・感想</p> <p>(1) 全般</p> <p>ア 基本構想・基本目標については、まさにそうだなと思う。</p> <p>イ いろいろな課題も網羅されている。</p> <p>(2) 都市像</p> <p>ア 都市像の響きが良い。(第五次総合計画の)「みどり」というのも良かったが、「彩り」は多様性を表しており、言葉だけでカラーが見えるような感じもする。「躍動」はブランドメッセージの「マグマシティ」とも重なり音まで聞こえてくるような感じがする。全国や世界に通用する高いポテンシャルを一言でよく表している。</p> <p>イ 都市像は、6つの基本目標の言葉をうまくまとめているが、若干長いのではないか。ワンメッセージでビジョンやスローガンを表現した方がより伝わるのではないか。</p> <p>ウ 都市像の中で、「そのため市民一人一人が互いに尊重し合い、個性と能力を発揮しつつ市民、事業者、鹿児島への思いを寄せてくださる多くの人々、関りのある団体など様々な交流により相互のつながりを深めることにより新たな価値が多彩な魅力を生み出し、人もまちも躍動する鹿児島市の創造を目指す」とあるが、ここは市民一人一人の努力を言われているように感じる。一方、信頼・共創政策の基本目標のうち、「健全財政の維持や効率的で質の高い行財政サービスの展開」は行政の努力である。具体的に、何をすれば、都市像につながっていくのか整理が必要。</p> <p>エ 「目指す都市像とはなんだろう」と思うと、フレーズとしては、やはり「安心して子育てできるまち」ということではないか。</p> <p>(3) 基本目標等</p> <p>① 全般</p> <p>ア いわゆる公助、公によるセーフティネットがベースにあるべきだ。</p> <p>イ ボランティアという言葉が何となく遠のいてしまっているのではないか。</p> <p>ウ 基本目標は大体網羅していると思う。</p> <p>② 人権に関すること</p> <p>人権についての項目が、前回は5番目の「学びよろこびが広がる誇りあるまち」に位置付けられ、人権意識の向上や啓発に重きが置かれていたように思っていた。今回、一つ目の「信頼とやさしさのある共創のまち」に、「性別や年齢、国籍などに関係なく、一人一人の人権が尊重され、個性と能力を発揮できる地域社会を築きます」とあり、人権意識の向上、人権意識とは何かということが具体的に書かれており、とてもよい。</p> <p>③ 平和意識の醸成に関すること</p> <p>ア 戦争を知らない高齢者が出てきた。</p>	<p>■ 基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1) 時代の潮流</p> <p>(2) 本市の特性</p> <p>(3) 将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1) 都市像</p> <p>(2) 基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>

第1回審議会 基本構想(素案)への感想、まちづくりへの意見等(要旨)について

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>④ ICTに関すること</p> <p>ア デジタルトランスフォーメーションが言われているが、その要素が少ないと思う。</p> <p>イ 重点プロジェクトの中でICTで住みよいまちとあるが、どちらかといえば市民サービスが中心となっている。社会課題の解決に活用する視点を入れてもいいのではないか。</p> <p>ウ ICTは、お年寄りのことも考えながら、慎重に推進していく必要がある。</p> <p>エ ネットワークのダウンに備えるべき時代になるのではないか。</p> <p>オ 鹿児島のICTの分野、ITの人材という部分でいうとまだまだ人が足りていないと思う。</p> <p>カ ICTを、便利になるツールとして必要な方に提供できる仕組みを作っていくべき。</p> <p>キ ICTを使いこなせる若い人たちが、使いこなせていない世代の人たちに対して、地域でどんどん教えてあげるような活動ができればいい。</p> <p>ク Wi-Fiが鹿児島市は都市部に比べたら圧倒的に整っていないと指摘されていた。ICTに関する部分は、そういった部分も具体的に変えていった方がいいのではないか。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>
<p>⑤ シティプロモーションに関すること</p> <p>ア ご主人の転勤で鹿児島市に来られた谷山在住の方が、(PLAY CITY! DAYSの)イベントのおかげで谷山が好きになった、鹿児島市や鹿児島県のことが好きになったという方もいらっしゃった。</p> <p>イ コロナ禍でなかなか海外の人が、日本に、鹿児島に来られないと思うが、まずは、鹿児島市に住んでいる人たちが、自分たちの地元の良いところを知って、みんなの中で発信していけば、必ずコロナが明けるときがくるので、その時の準備になるのだろうと思っている。</p>	
<p>⑥ 医療・福祉に関すること</p> <p>ア 一人暮らしの方があまり外に出られず、体力低下や認知症の問題が出てきている。</p> <p>イ 年を取ってくると、医療・福祉関係が一番大事であると痛切に感じる。</p>	
<p>⑦ 観光に関すること</p> <p>ア 観光資源を生かして潤っていくことはとても大事である。</p> <p>イ オンリーワンの魅力創出が大事。</p>	
<p>⑧ 子育て・教育に関すること</p> <p>ア 子どもたちの自己効力感、自己肯定感が下がっていると言われている。プライドを持っていくことは人の育ちにも町の育ちにも重要であり、基本目標に「誇りあるまち」とあるのはとてもよい印象。</p> <p>イ 安心して子育てができる、鹿児島市が好きだという人が増えていけば人口流出は防げる。</p> <p>ウ 子どもたちがもっと伸び伸び歩いていけるところにもあるといいなと感じている</p> <p>エ 子どもたちが遊ぶ、お年寄りも健康を維持できる観点での施設整備が重要。</p>	

第1回審議会 基本構想(素案)への感想、まちづくりへの意見等(要旨)について

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>オ 本来は子育て支援の中の一つとして待機児童対策があるべきなのに、待機児童対策をすることが子育て支援だ、という捉え方のずれみたいなものがないか。家庭での子育ての支援、あるいは、市・地域によって支えられる子育てのあり方などにも着目し、子育ての「全体が支えられている」という共通意識・方向性が現れてくるといい。</p> <p>カ 国の施策を後追いするような形だと、少子化が進んでいるのに待機児童問題が深刻化するという、矛盾するような状況に鹿児島市も陥りかねない。国の施策に基づかないといけない部分は多々あるが、市独自の、鹿児島モデルと言えるような子育ての都市づくりが重要。</p> <p>キ 子育てをするまちなんだという希望を裏切らないという方向性が打ち出せないか。</p> <p>ク 特別支援について、今後もっと力を入れていかなければならないのではないか。</p> <p>⑨ 文化に関すること ア 地域には活用できる文化財がたくさんあるのではないか。</p> <p>⑩ まち基盤に関すること ア 鹿児島港は、鹿児島市はもちろん、離島を支えている。地震で鹿児島港が揺れると、離島の人の生活も守れなくなる。</p> <p>(4)重点プロジェクト ア 前期の重点プロジェクトの方向性は、かねてから課題に感じている部分でもあったので、この3点が挙げられているのはよいと思う。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提 (1)時代の潮流 (2)本市の特性 (3)将来推計</p> <p>3 基本構想 (1)都市像 (2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>